

生活困窮者自立支援制度

～一人ひとりの状態に

あった支援を～

生活保護に至る前の生活困窮者の自立促進を図ることを目的に、生活困窮者自立支援制度が 4 月から始まりました。

市では、市内在住で、仕事・健康・家族関係などさまざまな理由で経済的に困っている人を対象に、自立相談支援事業などを行う相談窓口「いんざいワーク・ライフサポートセンター」を開設しました。

一人で悩まず相談を

生活困窮者自立支援制度では、生活保護を受けていない人で、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある人を対象に自立相談支援事業・住居確保給付金・就労準備支援事業・家計相談支援事業の 4 つの支援を行います。

◆自立相談支援事業

自立相談支援事業は、本制度の中心事業であり、支援を利用する最初の相談窓口です。

働けない、仕事がない、健康、家族関係などさまざまな理由で経済的に困っている人だけではなく、生活に困りごとや不安を抱えている場合は、ご相談ください。相談員が個別に相談を行い、状況と課題を分析し、一人ひとりに合わせた支援プランと一緒に作り自立に向けた支援をします。

◆住居確保給付金

離職などにより住居を失った人、または失うおそれの高い人には、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を整えた上で、就

職に向けた支援を行います。※一定の資産収入などに関する要件を満たしている人が対象。

◆就労準備支援事業

直ちに一般就労が困難な人に対して、就労に向けた基礎能力を養いながら就職に向けた支援をします。

◆家計相談支援事業

家計の収支に課題を抱えている人に対して、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画を作成し、早期の生活再生を支援します。

いんざいワーク・ライフサポートセンター（総合福祉センター内・☎375571）。

※窓口に来られない場合は、出張も行います（平日の月曜～金曜日・午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分、祝日、年末年始を除く）。

健康

特定不妊治療費助成を開始

特定不妊治療費について助成を開始します。給付条件は次のとおりです。

○次のすべての要件を満たしている人。

●千葉県特定不妊治療費助成事業による決定を一年以内に受けていること。

●法律上の婚姻をしている夫婦であること。

●申請日に一年以上の住民登録があること。

●申請日に夫婦に市税の滞納がないこと。

○助成金額：「千葉県特定不妊治療費助成の対象となった特定不妊治療に要した費用」から「千葉県で承認決定された助成額」を差し引いた額の 2 分の 1。 ※一回当たり 75,000 円が

上限（1,000 円未満は切り捨て）。

●必要書類：①印西市特定不妊治療費助成申請書、②同意書、③千葉県特定不妊治療費助成承認決定通知書の写し、④千葉県特定不妊治療費助成申請書に添付した特定不妊治療費助成事業受診等証明書の写し、⑤振込口座の通帳またはキャッシュカード、⑥印鑑（スタンプ印不可）。

※①②の用紙は、中央保健センター窓口または市ホームページからダウンロードも可。

※③・④は、県への助成申請の提出書類です。コピーをとり、大切に保管してください。

中央保健センターに必要書類を持参（郵送不可）。

中央保健センター（☎425595）。

個別健（検）診が始まります

6 月から、個別健（検）診（胃がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん・骨粗しょう症・口腔疾患）が始まります。

「受診券（申込者などに 5 月下旬送付済）」を持参して、お早めに委託医療機関で受診してください。予約が必要な医療機関があるので、受診券に同封する案内を参照してください。

また、健（検）診の申し込みが済んでいない人、健（検）診方法を変更したい人は左記まで、中央保健センター。

39 歳以下（コスモス健康診査と肝炎ウイルス検診

この機会に体の状態をチェックしましょう。

【39 歳以下健康診査】

問診、診察、尿検査、身体測定、血圧測定、血液検査、腹囲測定。 39 歳以下。

1,100 円。

【肝炎ウイルス検診】

○B 型と C 型肝炎ウイルス検査。 40 歳以上で、今まで肝炎ウイルス検査をしたことがない人。

300 円。

他各健（検）診を登録されている人には 5 月下旬に受診券と問診票を郵送しました。

6 月 30 日（火）（消印有効）までに住所、氏名、生年月日、電話番号を、郵送または電話で左記まで（市のホームページから電子申請での申し込みも可）。

中央保健センター（〒2701327 印西市大森 235613）。

地区健康推進員活動

家庭で出来るらくらく筋トレ

暮らしの中に運動習慣を取り入れましょう。自宅で簡単に続けられる運動を紹介します。

6 月 25 日（木）午前 10 時～正午（受け付け 9 時 30 分）。

本塾保健センター（笠神）。無料。



イスを使っの筋トレ

動きやすい服装で汗ふきタオル、バスタオル、飲み物を持参。 20 人程度。

事前に電話または左記窓口まで、中央保健センター（☎971111）。

国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査

市では、40 歳以上の国民健康

保険加入者と後期高齢者医療制度加入者を対象とした健康診査を実施します。

○は左表を参照。

※人間ドックを同一年度内に受診し、市の助成制度を利用する人は、受けられません。

【特定健康診査】国保年金課保険給付班（☎内線 285287）・【後期高齢者健康診査】高齢者医療年金班（☎内線 289）。

国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査 実施内容

健診名	対象	方法	実施時期	検査項目	自己負担額	申込期限	申込先
特定健康診査	40 歳から 74 歳 国保加入者	集団	6～8 月	問診、身体計測、検尿、血圧測定、 腹囲測定、医師の診察、血液検査	1,100 円	7 月 31 日（金）	国保年金課
		個別	6～10 月		1,500 円	9 月 30 日（水）	
後期高齢者 健康診査	後期高齢者 医療制度加入者	集団	6～8 月	問診、身体計測、検尿、血圧測定、 医師の診察、血液検査	なし	7 月 31 日（金）	
		個別	6～10 月			9 月 30 日（水）	

※「特定健康診査」の対象者には全員に案内通知を送付済みです（平成 27 年 4 月 16 日以降の国民健康保険加入者は申し込みが必要）。※「後期高齢者健康診査」を前年まで申し込んでいる人、昭和 8 年 4 月 1 日～昭和 15 年 10 月 31 日生まれの人申し込みが不要（平成 27 年 4 月 16 日以降の転入者は申し込みが必要）。※方法のうち集団は市内公共施設で実施。個別は市内指定医療機関で実施。個別健診を希望する場合は、問診票と案内通知がお手元に届いた後、医療機関に予約が必要。

印西市スポーツ推進委員主催
春のら・ら・らスポーツ祭

松山下公園でニュースポーツの体験会を開催します。

内①ノルディックウォーキング体験、②健康体操、③ニュースポーツ体験（ワンバウンドふらばーるバレーボール、ミニバドミントン）。

時 6 月 21 日（日）・①【1 回目】午前 9 時 30 分～10 時 30 分（受け付け 9 時～）、【2 回目】午前 11 時～正午（受け付け 10 時 30 分～）、②午前 11 時～正午（受け付け 10 時 30 分～）、③午前 9 時 30 分～正午（受け付け 9 時～）。

場①松山下公園内、②③松山下公園総合体育館（浦部）。

対市内在住・在勤・在学の、①②中学生以上、③小学 1 年生以上。

定①各回 25 人程度、②各回 30 人程度、③なし。

費 1 人 100 円（保険代）。

申 6 月 12 日（金）までに申込用紙（松山下公園体育館で配布、市ホームページからダウンロードも可）に必要事項を記入し、下記まで電話、FAX または持参。

問スポーツ振興課（☎428417・FAX428427）。



ワンバウンドふらばーるバレーボール

ス
ポーツ

印西市民オープン

ペタンク大会

6 月 28 日（日）・開会式午前 8 時 45 分（受け付け 8 時 30 分）。

※競技開始 9 時。

場松山下公園多目的広場（浦部）。

定トリプレット（3 人 1 チーム）40 チーム。

※個人参加も可能。

費一人 500 円（参加費）。

6 月 14 日（日）までに必要事項（チーム名、所属クラブ、選手氏名、住所、連絡先）を記入し、FAX またはメールで左記へ。

印市ペタンク協会・轟（☎/FAX 8402・fodomill15

印西市柔道大会

7 月 5 日（日）・開会式午前 9 時 40 分（受け付け 9 時）。

※競技開始 10 時。

場松山下公園総合体育館武道場（浦部）。

対市内在住、在勤、在学の柔道経験者。

費一人 300 円（参加費）。

6 月 12 日（金）（必着）までに、申込用紙に必要事項を記入し、郵送で印西市柔道大会事務局（〒2701367 印西市浦部 16315 千樹館接骨院内）へ。

※申込用紙と参加費の振込先など詳しくは、左記へお問い合わせください。

関大会事務局長・佐原豊現（☎0901923911008）。